

タイトル「高齢者を介護する人数の減少とその対策について」
沼田市立沼田北小学校 6年 氏名 宮田 妃奈香

今、沼田市では総人口が減少していきます。この20年間で1万人程人口が減る中、高齢者人口は増え続けています。最近では、高齢者が高齢者を支える状況も多く、私のおばあちゃんもひいおじいちゃんのお世話をすることがあります。そのような状況や、総合の学習で「少子高齢化」について学習をした時のことが心に残っており、介護する若い世代が少なくなっている現状について考えました。

沼田市には介護の専門性を高める進学先がなく、他の市に進学した人は、そのまま他の市で就職をしてしまうことが原因の一つではないかと考えました。そこで、沼田市で介護の勉強ができるたり、資格が取れたりするしくみづくりを提案します。介護の仕事に就きたいと考える若い世代の人達が沼田市で学び、就職でくるしくみが整備されていれば、沼田市から出て行ってしまう若い世代の人が減り、沼田市で就職をする人が増えると考えます。

このようになれば、若い世代の力をかりることができるのではないでしょうか。市ではこの現状をどのように考え、どのような取組を進めているのか、意見をお聞かせください。